

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			2・東書	第1・2・3学年	地図・701
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界全図」において、中心からの距離と方位が正しい地図と面積が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動</li> <li>・「世界州別図」において、世界の州の境を読み取ったり、第二次世界大戦前のアフリカの独立国を調べたりする活動</li> <li>・「世界主要地域詳細図」において、アメリカ合衆国の等時帯線を読み取ったり、西アジア・環地中海地域のパイプラインの位置を調べたりする活動</li> <li>・「世界の資料図」において、世界のエネルギー資源の分布と貿易を調べたり、SDGsの目標と課題解決に向けた取組を調べたりする活動</li> <li>・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動</li> <li>・「日本地域別詳細図」において、高速道路網による他地域との結び付きを調べたり、世界遺産のある県を調べたりする活動</li> <li>・「日本の資料図」において、日本の人口分布や増減率の特色を読み取ったり、日本の火山と地震の分布から、災害と向き合う方策を考えたりする活動</li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「注目したい記号」を設け、地図の読図を通して分かることを地域の特色を踏まえて整理したり、資料図にキャラクターの吹き出しを設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、世界の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて自然環境や農業等に関する資料図を選択できるよう構成するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「世界の諸地域」は84ページ、「日本の諸地域」は86ページ、「資料・統計等」は22ページであり、総ページ数は192ページで、前回より約4%増となっている。</p>			
使用上の配慮等		<p>○ 日本と結び付きが強い世界の各州に、自然地形をとらえられる鳥瞰図を掲載したり、北海道地方のテーマ資料においてアイヌ語に由来する地名の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「この地図の地図記号・活用方法」に地図帳の活用例や学習の指針を示したり、関連する資料を示す「ジャンプ」を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末に197か国及び47都道府県の統計をまとめて掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
指導上の配慮等		<p>○ 地域素材については、旭川市で観測された<math>-41^{\circ}\text{C}</math>の記録や旭川市の1年間の霧が生じる日数が取り扱われている。北海道地方は、8ページ分の地図が掲載されるとともに、「北海道の基本資料」において9種類の資料が取り扱われている。北方領土については、「日本の周辺」などで取り扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については、「Dマーク」(QRコード)が掲載されており、国土地理院のデジタル地図や、世界や日本各地の白地図、気象庁などへのリンク集などを学習に活用できるようにするなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については、「この地図帳の地図記号」において、索引の使い方を説明するなど、小学校の既習事項を振り返ることができるよう配慮がなされている。</p>			

<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<p>○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう、「歴史の舞台・九州地方」や「EU加盟国の拡大」などの資料を掲載し「歴史・公民マーク」を付けるとともに、世界の州、日本の地方ごとに「基本資料」を設け、各地域の自然環境や土地利用、降水量などの資料を掲載し、3分野全ての学習で活用できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力を育むことができるよう、1月と7月の降水量を表す地図を掲載したり、「地図の比較」において、2つの年代の神戸市付近の地図を比較させる活動を位置付けるとともに、関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設けるなどの工夫がなされている。</p>
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			46・帝国	第1・2・3学年	地図・702
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界全図」において、ヨーロッパ中心の面積が正しい地図や東京からの距離と方位が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動</li> <li>・「世界州別図」において、アジア州の境界を読み取ったり、ヨーロッパの位置を同緯度・同縮尺の北海道と比較したりする活動</li> <li>・「世界主要地域詳細図」において、モスクワから各都市への距離や時間から国土の広さを読み取ったり、アメリカやカナダの国立公園の分布を調べたりする活動</li> <li>・「世界の資料図」において、東アジアと日本の交流を調べたり、持続可能な社会を実現するための取組を調べたりする活動</li> <li>・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動</li> <li>・「日本地域別詳細図」において、高速道路網による他地域との結び付きを調べたり、地形の特徴から発達した農産物の違いを読み取ったりする活動</li> <li>・「日本の資料図」において、農業や工業の分布の特色を読み取ったり、東京都周辺の地形図から発生しやすい自然災害とその対策を調べたりする活動</li> </ul> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「地図活用」のコーナーを設け、地図の読図や比較を通して分かることを整理したり、資料図に学習課題を設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、世界の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて環境問題や日本との結び付きを示した資料図を選択できるように構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「世界の諸地域」は 61 ページ、「日本の諸地域」は 71 ページ、「資料・統計等」は 56 ページであり、総ページ数は 176 ページで、前回より約 7% 増となっている。</p>				
使用上の配慮等	<p>○ 世界の各州に生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、北海道地方の資料において開拓の歴史とアイヌ語地名の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「地図帳の使い方」に地図帳の活用例や学習の指針を示したり、関連性の深い内容を示す矢印マークを掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末に 197 개국及び 47 都道府県の統計をまとめて掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>				
指導上の配慮等	<p>○ 地域素材については、旭川市で観測された <math>-41^{\circ}\text{C}</math> の記録が取り扱われている。北海道地方は 8 ページ分の地図が掲載されるとともに、「北海道地方の資料」において 11 種類の資料が取り扱われている。北方領土については、「日本領土とそのまわりの国々」などで取り扱われている。</p> <p>○ ICT の活用については、二次元コード（QRコード）が掲載されており、「NHK for school」の動画や、国土地理院のデジタル地図、自然や産業をテーマとした主題図、統計資料などを学習に活用できるようにするなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については、デジタルコンテンツに「小学校の復習をしよう」を設けるとともに、「地図帳の使い方」において、索引の使い方を説明したり、「都道府県と昔の国名」で位置や名称の復習を促したりして、小学校の既習事項を振り返ることができるよう配慮がなされている。</p>				

<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<p>○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう、「東アジアと日本の交流歴史」の地図や「日本の統計」に合計特殊出生率を掲載するとともに、世界の州、日本の地方ごとに「資料」を設け、自然や土地利用、降水量などの資料を掲載するなど、3分野全ての学習で活用できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力を育むことができるよう、日本各地域の資料全てにおいて、1月と8月の降水量を表す地図や、2つの年代による変化を読み取らせる活動を位置付けるとともに、「地図活用」のコーナーを設定し、複数のページで、複数の地図を参照させる活動を位置付けるなどの工夫がなされている。</p>
<p>その他</p>	